

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報 (第11区)

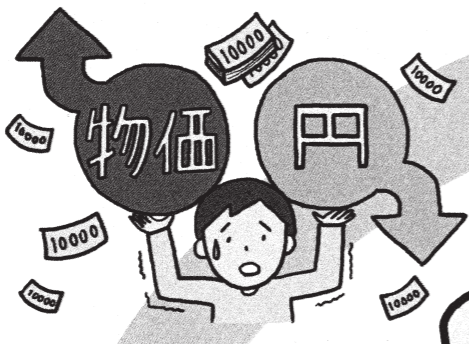
熊谷市の一部(旧江南町の区域)・秩父市
本庄市・深谷市・横瀬町・皆野町
長瀨町・小鹿野町・東秩父村
美里町・神川町・上里町・寄居町
埼玉県選挙管理委員会

次世代支援を政策の中心に

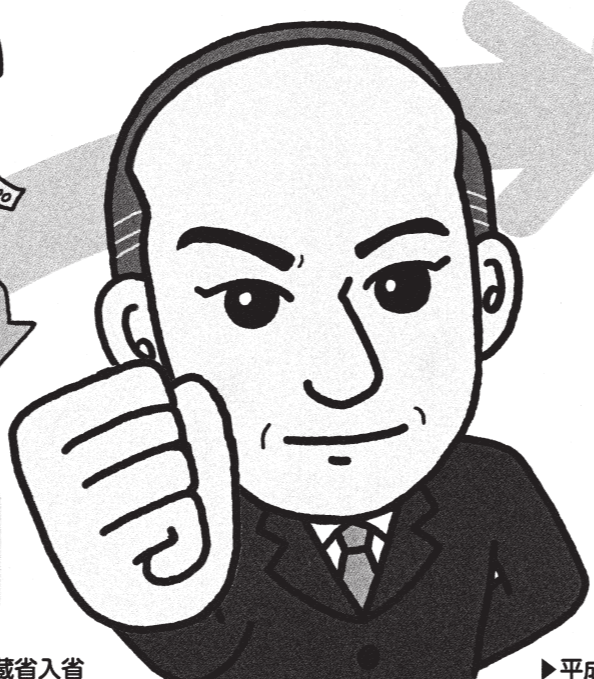
— 少子化・人口減少こそ日本の根本問題 —

物価上昇に追いつかない 賃金と所得

デフレ脱却を目指して日銀が大規模な金融緩和を実施。その結果、急速な円安となり、輸入物価が上昇することになりました。他方、景気の回復は地方や中小企業に波及せず、賃金や所得の目減りが続いています。



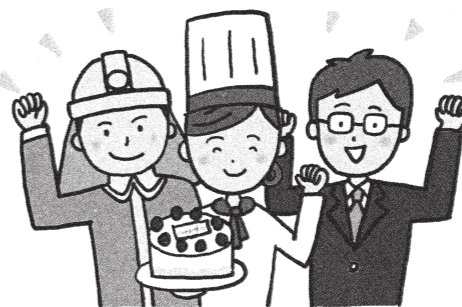
こうしたジレンマを乗り越えるためには、日本の根本問題を解決することがどうしても必要です。



新しい政策のアプローチ

- 出産・子育て支援
- 保育・就学支援
- 雇用の格差を縮小
- 若者の雇用を安定

「次世代」の活力を引き出す政策を正面に据える必要があります。



こいずみ
小泉りょうじ

略歴 ●昭和27年9月生まれ(本籍:秩父市中町) ▶50年東京大学法学部卒・大蔵省入省

▶平成8年大蔵省退官 ▶12年衆議院選挙初当選 ▶24年 衆議院選挙当選(4期目) 無所属

地方と家計に直結した 経済政策は、今野ともひろ

地方分権改革

- 地方自治体の機能を強化し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。
- 地方自治体の財政を支援し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。
- 地方自治体の財政を支援し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。

地方分権改革

- 地方自治体の機能を強化し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。
- 地方自治体の財政を支援し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。
- 地方自治体の財政を支援し、地方分権を推進することにより、道州制の導入を目指します。

**野党、無所属にはない
政策を実現する力**

地域の雇用と所得の拡大

- 企業収益の改善、雇用の拡大と賃金増、消費の拡大という、家計を中心とした成長の好循環を実現。
- 本社機能・研究開発拠点・データセンター等の地方移転、地域への新規企業立地促進。
- 同一価値労働・同一賃金を前提に、非正規労働者の処遇を改善。
- 女性が輝く日本へ
- 2020年までに計画的に女性の割合が30%以上となる目標を達成し、就業機会を拡大。
- 仕事と子育て・介護との両立支援ネットワーク・ Lohn・パランスの推進等、就業継続に向けた環境整備。
- 女性が起業・創業しやすい環境作りを取り組みます。

2年間の成果

(主な経済指標のみ抜粋)

雇用	就業者数は、約100万人増加 有効求人倍率は、22年ぶりの高水準 高校・大学生の就職内定率は、 約13%・5%と改善
賃金	賃上げ率は、過去15年で最高 夏のボーナスは、平均7%以上の伸び
企業	企業の経常利益は、過去最高水準
観光	2014年4月には旅行収支が、 44年ぶりに黒字化
女性の活躍	政権発足後、女性就業者数が約80万人増 保育の受け皿を、約19.1万人分整備

景気回復を、くらしの中へ。

- 1 デフレ脱却へ経済の好循環のはじまり**
三本の矢の経済政策は、確実に成果をあげつつあります。企業収益増加・雇用拡大・賃金上昇・消費拡大↓そして景気回復、経済の好循環はまさに生まれようとしています。
- 2 個人消費と地方経済の底上げ**
国民全体の所得を押し上げ、地方経済にも景気回復の効果を十分に波及させるため、個人消費のてこ入れと地方経済を底上げする力強い経済対策を実施します。
- 3 財政再建の旗は降ろさない**
消費税引き上げ先送りの判断をしましたが、財政再建の旗を降ろすことは決してありません。社会保障を次世代に引き渡していく責任を果たします。
- 4 経済再生に必要な政治の安定**
安倍政権のもとで、雇用は改善し賃金は上がり始めています。ようやく動き始めた経済の好循環。この流れを止めず、国民の皆様の支えによる政治の安定をお願いたします。



いまの
今野ともひろ

39歳 衆議院議員一期
自民党公認

暴走ストップ! 政治を変える

- 5つの転換
- 消費税 10%** 「先送り」でなくキッパリ中止
「消費税に頼らない別の道」を
財源 富裕層と大企業に応分の負担を求める
大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやす
 - アベノミクス** 「格差拡大」の暴走ストップ
TPP撤退、農業と中小企業の振興を
 - 集団的自衛権** 「戦争する国」づくり許さない
憲法9条生かした平和外交を
集団的自衛権の「閣議決定」撤回を
再稼働ストップ
「原発ゼロ」の日本へ
 - 原発**
 - 政治と金** 政党助成金は廃止し
政治腐敗の根源をたどす
金の力で政治をゆがめる企業・団体献金を禁止します

**日本共産党が
のびれば
政治は必ず
変わる**

日本共産党は、議案提案権を使い、国民の願いにこたえる法案を次々に提出しました。参院選に続いて衆院選でも日本共産党が躍進すれば、国民の声を国会へ届ける道が、さらに大きく広がります。日本の政治を変えましょう。

比例代表は
日本共産党とお書きください



日本共産党
**柴岡
ゆうま**

「戦争する国」づくり
やめよの声を「一緒に
子どもたちを戦場に送り
出すような国にはさせない

いま、日本は「戦争か平和か」の岐路に立たされています。昨年の秘密保護法に続き、集団的自衛権容認の閣議決定をおこなうなど、「戦争する国」づくりを着々とすすめています。そもそも集団的自衛権は、日本の防衛とはまったく関係のないものです。

私には2人の子ともがいます。この子どもたちが大きくなった時に、憲法9条が輝く日本を手渡してあげたいと考えています。「憲法9条だけは守ってもらいたい」の願いを日本共産党と私、柴岡ゆうまに託してください。

1984年生まれ。30歳。上柴西小、藤沢中、熊谷農業高校を経て帯広畜産大学卒業。現在党准中央委員、埼玉北部地区委員長。家族・妻、一男一女。深谷在住。 <http://www.shibaoka-yuma.jp>

埼玉県第11区



12月14日(日)は投票日

小選挙区選挙は、候補者氏名を書いて投票します。投票用紙は、ピンク色です。

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

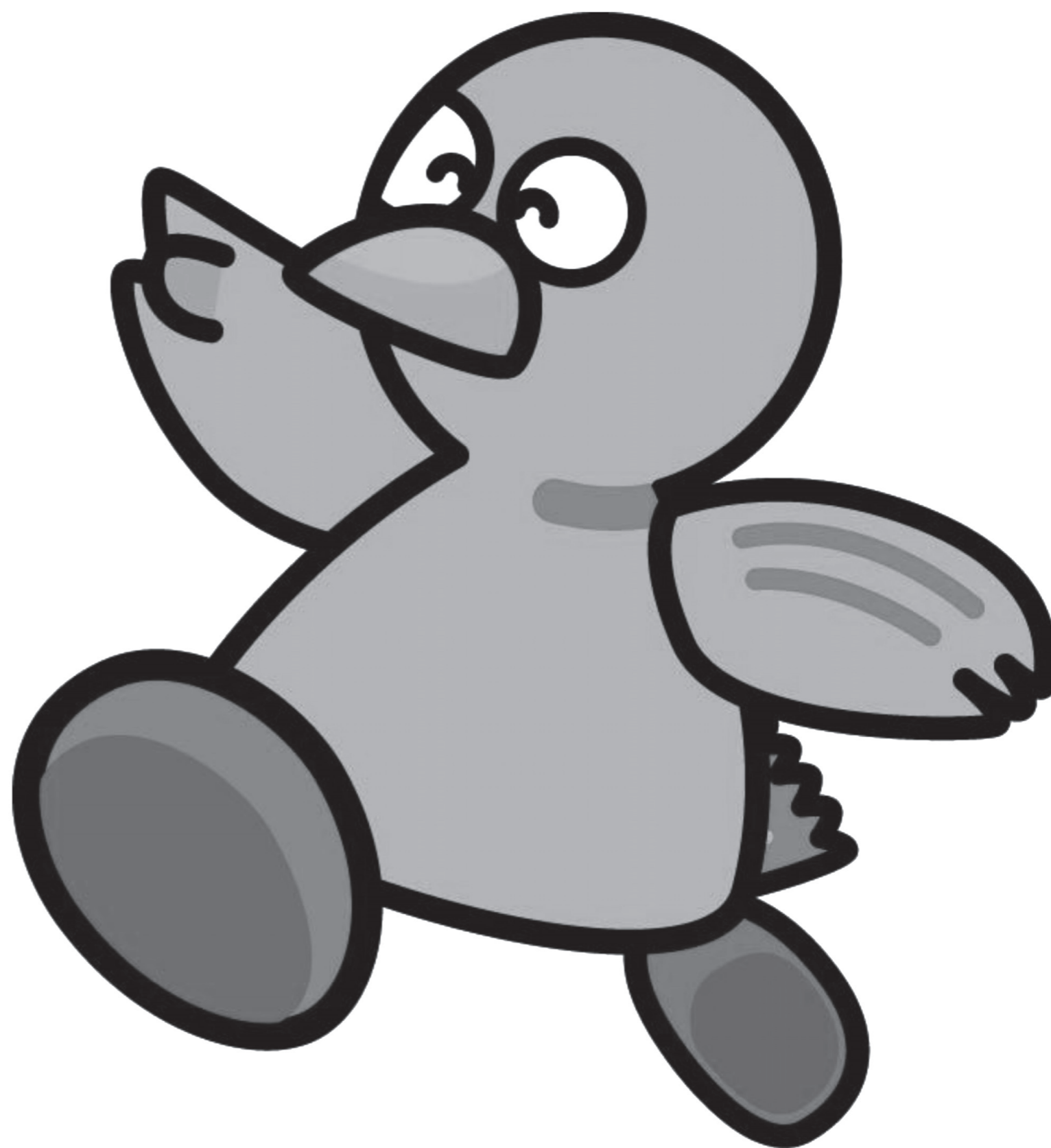
埼玉県選管 埼玉県選挙管理委員会

お住まいの選挙区の選挙公報が届かない世帯の方は、市区町村選挙管理委員会へ御連絡ください。

投票日 12月14日(日)

大切にしましょう。 あなたの一票！

小選挙区選挙は、
候補者氏名を書いて
投票します。
投票用紙は、
ピンク色です。



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県第11区



お住まいの選挙区の選挙公報が届かない世帯の方は、
市区町村選挙管理委員会へ御連絡ください。

仕事や旅行などのため投票日に投票所へ行けない方は、投票日より前に投票
することができます。詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い
合わせください。

期日前投票期間 平成26年12月3日(水)~13日(土)

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選挙管理委員会